

自分らしく、生きる

宮崎から考える LGBT

「ハッピープライド」「一人じゃないよ」。今月6日、東京の渋谷、原宿周辺をカラフルな衣装に身を包んだ約7千人が胸を張ってパレードし、声を上げた。国籍や性別、好きになる性、年齢…。さまざまな違いはあるが、思いを一つにして集まった。



沿道の観客とハイタッチしながら歩くプライドパレードの参加者。街が一体となって盛り上がった＝6日午後、東京都渋谷区（押川真基撮影）

つなぐ・支える

①

尊重し合う社会実現へ

者に、沿道からは拍手が送られ、ハイタッチを求める声も。店の中から出てきて声掛けする店員や、対向車から手を振るドライバー。街は一体感に満ちていた。

「ここに来ると、当事者もそつでない人も、みんな一緒に生きていることを確認できる。しかも、それが楽しいって最高」。ほぼ毎年参加しているゲイ（男性同性愛者）の当事者で、会員の下平武さん(25)＝静岡県＝は笑顔を見せた。

イベントを主催するNPO法人・東京レインボープライドの山縣真矢共同代表理事によると、源流は1969（昭和44）年の「スト

団体数は213社と、16年の130社から1.5倍以上に増加。大手企業も名を連ねる。

政治家の参加が増えたのも大きな変化だ。今回のパレードには立憲民主党の枝と語る。

「ニューオーラルの反乱」。米国・ニューヨークのゲイバ1で警察の取り締まりに反発した同性愛者が暴動を起こした。翌年、当地で性的少数者の人権を訴えるパレードが行われ、それが世界に拡大したという。

日本では94年に東京で初めて開かれた後、断続的に行われた。2012年から現在の形になって今年7回目。年々規模は大きくなり、今年のスポンサー企業

野幸男代表、自民党の朝日健太郎参院議員ら、与野党の国会議員が顔をそろえた。メイン会場の代々木公園には企業や団体、大使館など200を超えるブースが、安心して暮らせる社会にしたい」と説く。「お祭りは、歌手・浜崎あゆみさんのライブが話題を集め、来場者は過去最多の15万人に上ったという。

イベントの移り変わりを迎えてきた、主催団体の杉山

あすフォーラム
宮崎市・宮日会館
宮崎日日新聞社は、フォーラム「宮崎から考えるLGBT」を27日午後1時から宮崎市の宮日会館で開きます。性的少数者の子どもたちが自分らしく過ごせる

教育現場の在り方などを考えます。入場無料。
トランスジェンダー活動家・杉山文野さん（東京）の講演「はじめてのLGBTの性の多様性と人権」と

知識と学校での対応、パネルディスカッション「自分らしく、生きる」子どもたちのためにできること」があります。
参加は当日、会場でも受け付けます。問い合わせは宮崎日日新聞社報道部 ☎0905（22）33821。